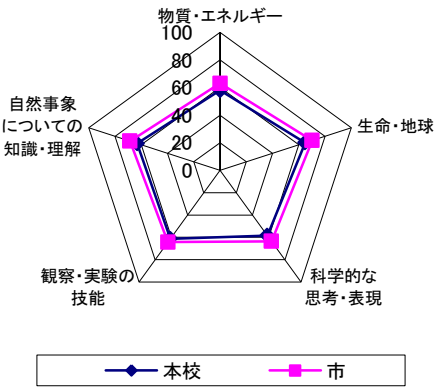


宇都宮市立陽南中学校 第3学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	57.9	63.0	57.9
	生命・地球	64.8	70.2	65.2
観点別	科学的な思考・表現	58.4	63.5	57.5
	観察・実験の技能	61.3	64.3	61.5
	自然事象についての知識・理解	63.1	68.6	64.0

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	●本校正答率は、市正答率より5.1ポイント下回る一方、参考値と同じである。 ○観察・実験の技能や、身の回りの物質、酸・アルカリとイオンは、市正答率とほぼ同じである。 ●科学的な思考・表現や知識・理解は、市正答率より5ポイント以上下回っている。分野別では、音、原子・分子、電流の性質において差が大きかった。同じ分野でも（物体のいろいろな運動）、市正答率と技能はほぼ同じなのに対し、思考・表現力では差が大きかった。	得点分布では、上位と下位に2つの山が存在する。得点上位の生徒の割合は市平均とほぼ同じであるので、下位の生徒の成績が向上すると、平均点も市とほぼ同じになると考える。成績下位の生徒を引き上げるために、以下の4点を今後の指導と重点とする。 ①苦手意識を軽減するために、分かりやすい授業 ②実験や観察などの実体験による、興味関心の喚起 ③発問の工夫による、思考場面の増加 ④家庭学習の習慣化による、知識の定着
生命・地球	●本校正答率は、市正答率より5.3ポイント下回る一方、参考値とほぼ同じである。 ○植物、動物の分野は、市正答率とほぼ同じであった。 ●岩石、天気分野は、市正答率との差が大きかった。	